

貸借対照表

令和5年3月31日現在

勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	36,106,914	流動負債	29,483,854
固定資産	53,196,058	固定負債	19,135,650
基本財産	30,221,733	負債の部の合計	48,619,504
その他の固定資産	22,974,325	純資産の部	
		基本金	30,000,000
		国庫補助金等特別積立金	1,316,001
		その他の積立金	557,736
		次期繰越活動増減差額	8,809,731
		純資産の部合計	40,683,468
資産の部合計	89,302,972	負債及び純資産の部合計	89,302,972

資金収支計算書

(自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日

勘定科目	予算	決算	差異
事業活動収入計 ①	223,061,000	205,474,747	17,586,253
事業活動支出計 ②	219,173,695	202,206,010	16,967,685
事業活動資金収支差額 ③(①-②)	3,887,305	3,268,737	618,568
施設整備等収入計 ④	1,504,000	1,504,000	0
施設整備等支出計 ⑤	3,399,445	3,396,896	2,549
施設整備等資金収支差額 ⑥(④-⑤)	△ 1,895,445	△ 1,892,896	△ 2,549
その他の活動収入計 ⑦	29,620,000	29,619,057	943
その他の活動支出計 ⑧	31,120,000	30,949,014	170,986
その他の活動資金収支差額 ⑨(⑦-⑧)	△ 1,500,000	△ 1,329,957	△ 170,043
予備費支出 ⑩	100,000	0	100,000
当期資金収支差額合計 ⑪(③+⑥+⑨-⑩)	391,860	45,884	345,976
前期末支払資金残高 ⑫	17,815,189	17,815,189	0
当期末支払資金残高 (⑪+⑫)	18,207,049	17,861,073	345,976

事業活動計算書

(自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
サービス活動収益計 ①	202,981,416	202,330,806	650,610
サービス活動費用計 ②	204,197,065	205,119,645	△ 922,580
サービス活動増減差額 ③(①-②)	△ 1,215,649	△ 2,788,839	1,573,190
サービス活動外収益計 ④	2,493,331	1,197,125	1,296,206
サービス活動外費用計 ⑤	343,310	360,390	△ 17,080
サービス活動外増減差額 ⑥(④-⑤)	2,150,021	836,735	1,313,286
経常増減差額 ⑦(③+⑥)	934,372	△ 1,952,104	2,886,476
特別収益計 ⑧	1,504,000	0	1,504,000
特別費用計 ⑨	1,504,001	0	1,504,001
特別増減差額 ⑩(⑧-⑨)	△ 1	0	△ 1
当期活動増減差額 ⑪(⑦+⑩)	934,371	△ 1,952,104	2,886,475
前期繰越活動増減差額 ⑫	7,875,360	9,827,464	△ 1,952,104
当期末繰越活動増減差額 ⑬(⑪+⑫)	8,809,731	7,875,360	934,371
基本金取崩額 ⑭	0	0	0
その他の積立金取崩額 ⑮	0	0	0
その他の積立金積立額 ⑯	0	0	0
次期繰越活動増減差額 ⑰(⑬+⑭+⑮-⑯)	8,809,731	7,875,360	934,371

事業所のサービス内容や日々の様子をホームページやブログで紹介しています。

ぜひチェックしてみてください！



ホームページ



ブログ

実習生を受け入れています

社会福祉法人緑仙会では、実習生を積極的に受け入れ、福祉人材の育成に努めております。

職員所持資格：精神保健福祉士 社会福祉士 作業療法士

受入実習：精神保健福祉援助実習、教員免許のための介護等体験、看護学生に対する臨地実習（令和4年度実績）

少しずつ行事ができる
ようになりました！

2022 Pick up Topics



編集・発行

社会福祉法人 緑仙会

宮城県仙台市泉区七北田

字大沢鳥谷ヶ沢8-11

TEL 022-377-3761

FAX 022-377-3762

今年も半年が過ぎました。緑仙会の各施設では、昨年度後半から、新型コロナウイルス感染症対策を継続しながらも、行事の再開に取り組んできたところです。

しかしながら新型コロナウイルス感染症が2023年5月に5類に移行してから、またもや感染者数は増加傾向が見受けられます。ある調査では、市民の58%が「以前ほど不安を感じなくなった」と回答する一方、42%の市民は「感染者数が増えたと、以前と同じように不安や恐怖を感じる」と回答しました。これは、感染症がまだ完全に終息していないこと、感染した場合の後遺症や、今後の感染拡大が懸念されているためとしています。

このように、市民の新型コロナウイルス感染症に対する感情はさまざまですが、私どものサービス利用者様の多くは、後者の思いを抱く方が大半と考えています。そして、その感情は多様なものがあり、それだからこそ、私たちは相互に理解し、互いに支え合いながら、共感しあう社会を築き上げることがさらに求められます。

今後とも関係する皆様のご支援、ご協力をいただきながら、この困難を乗り越えてまいりたいと存じます。引続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

令和4年度活動報告

～就労移行支援事業所・就労継続支援B型事業所 パルいずみ～

パルいずみでは、就職を希望されている方や自立した生活を目指す方が、目標を達成できるよう、一人ひとりと向き合い支援しています。

就労移行支援事業では、就労プログラムを通じて、働くために必要な心構え、制度の知識、ビジネスマナー等を身に付ける訓練を行い、職場見学、職場体験実習を実施しました。さらに、今までに就職された方へアフターフォローを行い、就労の継続を支援しました。

就労継続支援B型事業では、工賃向上を目指し、下請作業、自主製品製作・販売に力を入れました。新たにパソコンを4台導入しデータ入力等に取り組み、昨年度から引き続き企業広告等の封入・事業所外作業として商品発送業務等に加え、箱折りの新規作業を獲得し、継続して取り組んでいます。自主製品では、仙台土産として販売している七夕すとりっぱをリニューアルしました。また、作業効率アップや健康維持を目的に、朝と帰りのミーティング時と作業中にストレッチを行っています。

令和5年度は、安定した作業受注の拡大と効率的な取組を利用者の皆さんと一緒に考えながら、工賃向上に引き続き取り組みたいと思います。

利用者さんからのコメント

Hさん「作業で分からないことは職員が教えてくれるので安心です。就労プログラムでは、自分に合った求人職員と一緒に探すことができます。」

Jさん「週1日から利用を始め、順調に進み、今では週5日箱折作業をしています。今後は販売会への参加など、新たな挑戦が出来たらいいです。」



職場実習



データ入力



七夕すとりっぱ

～就労継続支援B型事業所 パル三居沢～

パル三居沢では、利用者一人ひとりの社会参加の場として魅力ある事業所を目指し個別支援計画の見直しを丁寧に行うことで、きめ細かい支援を行っています。

令和4年度の生産活動としては、事業所内で行う作業（医療用コルセットの組立・企業広告等の封入封緘・箱折り・養生材のメンテナンス）のほか、事業所外で行う清掃・除草作業に取り組みました。自主製品制作では、アクリルたわしや毛糸の帽子などの手芸品に取り組み、3年ぶりに宮城県主催のナイスハートバザール仙台へ出店し、多くの方にパル三居沢と自主製品を知ってもらうことができました。また、昨年度は新たにパソコン4台を導入し、パソコン作業実施に向けた取り組みも行いました。

作業以外では、毎月レクリエーションを行い、親睦を深めました。初めてBBQや3年ぶりにバス旅行を行い、利用者みなさんと楽しむことができました。今年度も皆が楽しめるレクリエーションを行い、充実した余暇支援に取り組んでいきたいと思ひます。

令和5年度におきましても、職員・利用者一丸となって「魅力ある事業所づくり」を進めていきます。

利用者さんからのコメント

Sさん「作業が楽しく、やりがいを感じます。」

Iさん「毎月行うレクリエーションが楽しいです。」



ナイスハートバザール仙台



バス旅行（蔵王）

～自立訓練（生活訓練）・宿泊型自立訓練・短期入所事業所

ウインディ広瀬川～

ウインディ広瀬川では、精神障害を抱える方が安心して地域で生活を送ることができるように、一人ひとりのニーズに合わせて服薬や金銭の管理、掃除、洗濯等の支援を行っています。

令和4年度は、プラ板作りや団子作り、スクラッチアートなどの新しい内容のプログラムを取り入れてみました。また、3年振りにバス旅行を実施することができました。

今年度は、お誕生日会を始めたり、外出する機会を増やしたりとプログラムの内容をより充実させ、様々なレクリエーションも増やしていきながら、楽しく生活面のスキルアップができるよう取り組んでいきたいと思ひます。



団子作り

利用者さんからのコメント

Sさん「お金の管理や洗濯、週末の食事準備が自分でできるようになりました。」

Kさん「自立訓練を通して生活全般のことが出来るようになりました。」



バス旅行
（仙台市天文台）



プラ板作り

～障害者相談支援事業所 ほっとすぺーす～

ほっとすぺーすでは電話相談や面接相談のほか、ご自宅や病院などにも訪問してお話を伺い、一人ひとりの希望や課題を共に考えながら、生活の維持向上に向けた相談支援を行いました。障害福祉サービスを利用する方にはサービス等利用計画を作成し、関係機関との連携のもと、サービス担当者会議やモニタリングを実施し、必要なサービスの調整や援助を行いました。また、就労系や居住系のサービス事業所の見学を希望される方への同行支援等も実施しました。

ほっとすぺーすが参加している青葉区障害者自立支援協議会（サポネットあおば）の地域展開チームでは、地域でのつどいの場を作ることを目的に、貝ヶ森中央公園広場にて「貝ヶ森だヨ！全員集合 ～ふらっと寄りみち軽体操～」を年3回実施し、地域住民の方々と交流をしました。

また、10月には、青葉区にある貝ヶ森市民センターで行われた「貝ヶ森地区文化祭」に参加し、障害や福祉に関するクイズ大会、輪ゴム鉄砲の当て大会、軽体操などを行い、楽しみながら地域に住む方たちへ障害福祉に関する理解を深めてもらえるよう取り組みました。

令和5年度も利用者の皆さんが地域で安心した生活ができるよう、地域の方たちとの交流を図りながら、一人ひとりの希望を大切にした支援を行なってまいります。



貝ヶ森地区文化祭



貝ヶ森だヨ！全員集合
～ふらっと寄りみち軽体操～